

企業版ふるさと寄附金は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の取組に対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額を控除する仕組みです。令和2年度の税制改正により、税額控除が最大で寄附額の約9割までに拡充されました。

本市では、令和3年度に地域再生計画の認定を受け寄附金の募集を開始し、令和4年度は、7事業に対して合計1,920万円の寄附をいただきました。7事業のうち、令和4年度に完了した2事業についての効果検証は、以下のとおりです。継続中の事業を含めた一覧は、資料7をご確認下さい。

本市寄附受領額（令和4年度） 1,920万円

事業① 第3子以降学校給食費助成金事業

担当課 健康給食課

事業概要 多子世帯における保護者の経済的負担を軽減するため、小・中学校等に在学し一定の要件を満たす第3子以降の児童・生徒の保護者に対して、学校給食費を助成するもの。令和4年度からは、以下のとおり支給要件を拡充した。
 ・18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある子が、3人以上いる保護者のうち、就学義務年齢にある第3子以降の児童生徒を養育している保護者。
 ・所得要件の撤廃。

事業費 4,805万7,625円（うち交付金充当額：100万円）

地域再生計画上の位置づけ 結婚・出産・子育ての希望を実現する事業
 ・母子保健サービスの充実や子育て支援の充実等、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図り、転出の抑制と出生数の増加に取り組むとともに、仕事と子育てが両立できる環境づくりを促進するもの。

成果目標	合計特殊出生率		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	1.36（令和2年）	1.62（令和3年）	1.35（令和3年）



まとめ（市検証結果）

申請のあった一定の要件を満たす第3子以降の児童・生徒の保護者に対して学校給食費を助成することによって、多子世帯における保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。令和5年度も引き続き同様の事業を実施する。

成果目標である「合計特殊出生率」については、目標値を達成できなかった。これは、仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れや、結婚・出産に対する価値観の変化を背景とした、未婚化・晩婚化の進展が原因であると考えられる。

今後も引き続き、総合戦略に基づく結婚・出産・子育ての希望の実現に係る各施策について、一つ一つ着実に事業実施していくことにより目標達成を目指していく。

事業② 小中学校体育館照明LED化事業

担当課 教育施設課

事業概要

老朽化した高天井照明等をLED化することで屋内運動場の照度改善及び省エネ化を図るとともに、子どもたちの運動環境の整備を行うもの。
令和4年度は、以下の小学校4校の体育館において整備を実施した。

- ・豊受小学校体育館
- ・あずま小学校体育館
- ・境小学校体育館
- ・宮郷小学校体育館

事業費 4,256万6,700円（うち交付金充当額：110万円）

地域再生
計画上の
位置づけ

地域を担う人材を育成する事業
・地域に根ざした特色ある教育の推進やグローバル教育の推進等、地元愛を育むふるさと学習を推進するとともに、次代のまちづくりや地域の活性化を担う人材を育成するもの。

成果目標

将来の夢や希望の実現に向け努力している児童・生徒の割合※

令和3年度実績

74.8%

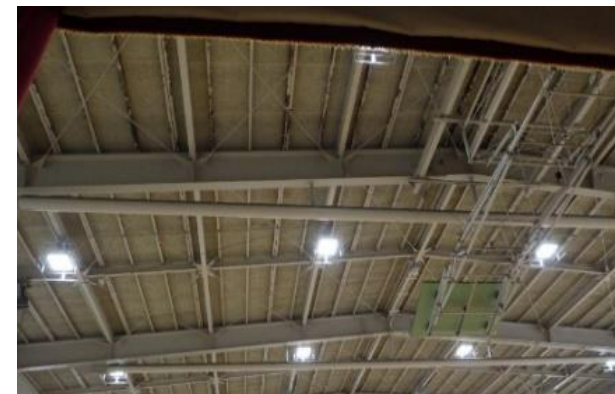
令和4年度目標

81.0%

令和4年度実績

76.4%

※生活・学習状況調査で「努力している」「どちらかというとな努力している」と回答した割合の小学1年生から中学3年生までの平均



まとめ（市検証結果）

学校体育館の照度改善が図られ、学校からは以前より大変明るくなり照明がすぐ点灯すると言った報告を受けている。教育活動の場である体育館の環境改善と利便性の向上が図られた。今後は、LED化されていない体育館26棟を令和7年度までに計画的に改修したい。

成果目標である「将来の夢や希望の実現に向け努力している児童・生徒の割合」については、コロナ禍における教育活動や行事の中止・変更が要因になり、目標を達成できなかったものと考えられる。

今後は、「伊勢崎学校教育構想」を踏まえた実践を継続、充実させ、児童生徒一人ひとりが夢や希望をもち、自分らしい生き方を実現できるよう努めていく。

No	寄附金事業名	寄附金事業概要	併用した国の補助金・交付金の名称	事業費・歳出(円)			実施期間	効果	今後の方針	地域再生計画における事業への位置づけ	地域再生計画における事業の内容	担当課	
				寄附金額	併用した国の補助金・交付金の金額	一般財源							
1	まちなか創業支援事業	中心市街地における創業を支援するため、新たに創業する事業者向けにビジネスプラン及びSNS活用等のワークショップを開催するもの。 R3.12.23に協定を結んだまちなか活性化支援会議と連携を図り、4回程度のワークショップを開催することで、創業するためのビジネスプランの作成を支援した。 ※地方創生推進交付金(事業費の1/2)活用	地方創生推進交付金	520,000	200,000	260,000	60,000	R4~R6	※事業実施中 市内における創業を促進し、地域経済の活性化を図るため、市内で創業する者にぎわい創出の取組みを新たに始める者に対して、ワークショップ形式で研修等を行う本事業の実施により、25人を超えるワークショップ参加者へ支援を行うことができた。 また、本事業の参加者が、地域活性化の政策案を募集する「地方創生☆政策アイデアコンテスト2022」(内閣府主催)で優秀賞を受賞するなどの成果も見られた。	活力ある商工業の振興のためには、起業しやすい環境の整備が必要であることから、今後も引き続き本事業による創業支援に取り組んでいく。	安定した雇用を創出する事業	地域産業の活性化や付加価値の向上、就労への総合的支援、企業誘致の推進、農業の成長産業化等、魅力ある多様な就業機会を創出し、誰もが働きやすい環境を整備することにより、継続的に安定した雇用機会を創出するもの。	商工労働課
2	販路拡大支援事業	市内企業の販路拡大の取組を軸として、情報発信及び連携支援の強化、先進事例等の情報収集の支援を行い、魅力ある雇用の創出を図るもの。 令和4年度は、市内企業技術展示会及び製品展示会の開催、県外展示会への共同出展事業等を行った。 ※地方創生推進交付金(事業費の1/2)活用	地方創生推進交付金	16,493,030	800,000	8,246,515	7,446,515	R4~R6	※事業実施中 Gメッセ群馬での展示商談会や、Made in いせきまマッチングイベントとしてWORK WORK フェスの開催、県外の展示会への共同出展等を行うことができた。 参加企業へのアンケートでは、自社製品のPRができたというものや、見知り依頼を受けたこと、商談が成立したとの回答など、今後の販路拡大につながるものとなった。	今後も展示会等に積極的に参加し、市内企業の販路拡大の支援に取り組んでいく。	安定した雇用を創出する事業	地域産業の活性化や付加価値の向上、就労への総合的支援、企業誘致の推進、農業の成長産業化等、魅力ある多様な就業機会を創出し、誰もが働きやすい環境を整備することにより、継続的に安定した雇用機会を創出するもの。	企業誘致課
3	伊勢崎市企業版ふるさと寄附金基金事業	※令和5年度に、安定した雇用を創出する事業のまちなかプロジェクト(小規模事業者サポート補助金事業・創業促進サポート補助金事業・まちなか創業支援事業)に充当予定	なし	10,001,000	10,000,000	0	1,000	R5~	※事業実施中 令和5年度の安定した雇用を創出する事業のまちなかプロジェクト(小規模事業者サポート補助金事業・創業促進サポート補助金事業・まちなか創業支援事業)に充当予定。	基金を活用し、安定した雇用を創出する事業のうち、「まちなか創業とにぎわい創出を核とした官民連携による持続的経済活力向上プロジェクト」に寄附を充当予定。本プロジェクトは、信金中央金庫が実施している「SCBふるさと応援団」(2022年度)に上記の事業を令和5年度から令和7年度にかけて計画し採択されている。 なお、積立額のうち寄附額(地方創生応援税制の適用のあるものに限る)の全額が執行されるまで、事業を継続する。	安定した雇用を創出する事業	地域産業の活性化や付加価値の向上、就労への総合的支援、企業誘致の推進、農業の成長産業化等、魅力ある多様な就業機会を創出し、誰もが働きやすい環境を整備することにより、継続的に安定した雇用機会を創出するもの。	企画調整課
4	水生植物園整備事業	華蔵寺公園水生植物園について、自然に触れられる個性的な園地の形成を目指して、水生植物園の再整備を行うもの。 令和4年度は、再整備に向けた設計を実施した。	なし	6,248,000	1,100,000	0	5,148,000	R4~R6	※事業実施中 水生植物園の再整備に向けた設計を行った。	華蔵寺公園のあたらしい魅力の創造や美観の向上、憩い空間の提供のため、自然に触れられる個性的な園地の形成を目指して、再整備を進める。	ひとの流れを創出する事業	地域資源や観光資源を生かした誘客、関係人口の創出・拡大、地方居住の推進等、魅力ある観光づくりやスポーツイベントの充実を推進し、交流人口や関係人口の拡大に努めるとともに、UIJターンの推進や本市にある大学に通う学生に対する本市内への就職を促進するなど、転入者の増加を図るもの。	公園緑地課
5	(仮称)伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センター整備事業	市内4か所の保健センターを統廃合し、市民の健康づくりや子育て支援の拠点となる新保健センターを整備するもの。新保健センターは、子育て世代包括支援センターの機能や感染症・災害発生時における罹災者の支援を行う拠点としての機能を併せ持つ複合的な施設となる。 令和4年度は、新施設建設に係る実施設計を実施し、詳細設計図の作成等を行った。	都市構造再編集中支援事業補助金	57,475,000	5,000,000	28,800,000	23,675,000	R4~	※事業実施中 新施設建設に係る実施設計を実施し、詳細設計図の作成等を行った。	本事業は令和6年度までの継続事業であることから引き続き寄附金の活用を行っていく。 子育て支援の拠点の施設整備として、地方創生の取組に効果が期待できる。より地方創生に効果がある事業となるよう関係課等と引き続き協議を進めていく。	結婚・出産・子育ての希望を実現する事業	母子保健サービスの充実や子育て支援の充実等、安心して子どもを生み育てられる環境の整備を図り、転出の抑制と出生数の増加に取り組むとともに、仕事と子育てが両立できる環境づくりを促進するもの。	健康管理センター
6	第3子以降学校給食費助成金事業	多子世帯における保護者の経済的負担を軽減するため、小・中学校等に在学し一定の要件を満たす第3子以降の児童・生徒の保護者に対して、学校給食費を助成するもの。令和4年度からは、以下のとおり支給要件を拡充した。 ・18歳に達する日以後の最初の3月31日までにいる子が、3人以上いる保護者のうち、就学義務年齢にある第3子以降の児童生徒を養育している保護者。 ・所得要件の撤廃。	なし	48,057,625	1,000,000	0	47,057,625	R4 (毎年度実施)	申請のあった一定の要件を満たす第3子以降の児童・生徒の保護者に対して学校給食費を助成することによって、多子世帯における保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。	本事業は、令和5年度も実施する。ただし、年齢及び世帯構成による申請要件のため、年度により対象世帯が変更となることから、令和5年度に改めて申請が必要となる。	結婚・出産・子育ての希望を実現する事業	母子保健サービスの充実や子育て支援の充実等、安心して子どもを生み育てられる環境の整備を図り、転出の抑制と出生数の増加に取り組むとともに、仕事と子育てが両立できる環境づくりを促進するもの。	健康給食課
7	小中学校体育館照明LED化事業	老朽化した高天井照明等をLED化し屋内運動場の照度改善及び省エネ化を図るとともに、子どもたちの運動環境の整備を行うもの。令和4年度は、小学校4校で実施した。 令和4年度実施：小学校4校で実施した。 ・豊受小学校体育館 ・あすま小学校体育館 ・境小学校体育館 ・宮郷小学校体育館	なし	42,566,700	1,100,000	0	41,466,700	R4 (R7まで毎年度実施)	学校体育館の照度改善が図られ、学校から以前より大変明るくなり照明がすぐ点灯することによって、子どもたちの運動環境の整備が図られました。	今後、未だLED化されていない体育館26棟について、令和7年度までに計画的に改修していく。	地域を担う人材を育成する事業	地域に根ざした特色ある教育の推進やグローバル教育の推進等、地元愛を育むふるさと学習を推進するとともに、次代のまちづくりや地域の活性化を担う人材を育成するもの。	教育施設課
合計				181,361,355	19,200,000	37,306,515	124,854,840						